



週報

Rotary

国際ロータリー会長
ステファニー A. アーチック
会長 伊東眞知子第2720地区ガバナー
幹事 石橋 春明 三村 彰吾
大分第4Gガバナー補佐
佐藤 憲幸
地区スローガン
寛容な心で、ロータリーの未来、そして若者の未来を考えよう。



大分城西ロータリークラブ

クラブスローガン「クラブを愛しましょう！ と共に 親睦と奉仕を一」

<四つのテスト> 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

出席報告	7月 24日					例会日 水曜日 12:30~13:30 例会場 ホテル日航大分オアシスター ホームページ http://oitajosairotaryclub.com	編集担当 7月 真上晋 8月 河野浩二 9月 園田哲史 Eメール oitajosairc@mst.ocn.ne.jp
	会員総数	出席者数	出席率	ゲスト	ビジター		
	30名	23名	79.31%	0名	0名		
事務局	〒870-0021	大分市府内町トキハ会館4階	TEL 097-532-0611	FAX 097-532-8386	Eメール		

2024-2025

第4回例会

7月31日

◆本日のプログラム（7月31日）

12:30	点鐘
	ロータリーソング「四つのテスト」
	ゲスト・ビジターの紹介 伊東眞知子 会長
	会長の時間 伊東眞知子 会長
	出席報告及び幹事報告 石橋春明 幹事
	ロータリー情報 R情報担当委員
	委員会報告 各 委 員 会
	スマイルボックス 会 員 各 自
12:45	職場例会 指令センター視察
	防災卓話
	おおいた消防指令センター通信指令課
	参事 川上和宏様

◆ゲスト・ビジターの紹介（7月24日）

●ゲスト	ナシ
●ビジター	ナシ

◆新入会員入会式（7月24日）

本日、原田隆雄会員（（株）葵 代表取締役）が新入会員として入会いたしました。

又、藤井富生会員が本日付けで再入会されました。



◆今週のお祝い（7月31日）

●創立記念

廣瀬舜一会員	HIIヒロセ S53年8月1日 (46年)
藤井富生会員	(株) そうりん H6年8月 (30年)

No.1565

母子の健康月間

◆今後の例会予定

●8月7日	新入会員歓迎親睦夜例会
●8月14日	定款第7条第1節に基づき例会取りやめ
●8月21日	川間信太郎様（自衛隊大分地方協力本部本部長）の卓話
●8月28日	城西マーケット
●9月4日	全員協議会（当番クラブについて）
●9月11日	未定

●職業奉仕3分スピーチ

本日はありません。

(8/21) 中村会員 (8/28) 園田会員

◆スマイルボックス（7月24日）

伊東眞知子会員	3口
先日、夫伊東啓が警察医として警察庁長官賞を受賞しました。警察協力賞というそうです。検死及び刑務所での診察などを25年以上続けて参り、それを認めて頂け大変本人も喜んでおります。	

寺崎直史会員 1口

先日、妻の誕生日に素敵な花をいただき、ありがとうございました。妻も大変感動していました。感謝をこめて1口申告します。

二宮浩司会員 1口

7/24結婚記念日に素敵なスパークリングワインを頂きました。お祝いに今日にでも飲ませて頂きます。

河野浩二会員 1口

先週、家内の誕生日に家内の年齢に合わせた妖艶なお花を頂き、ありがとうございました。

◆幹事報告（7月24日）

幹事 石橋 春明

・本日、伊東年度の会員必携と別刷りの大分城西ロータリークラブ定款、細則、また今年度上期の会費等の請求書を配布。

・本日の回覧物、ガバナー歓迎懇親会、IMのご案内、ガバナーノミニー・デジグネット候補者推薦について、4部門合同セミナー、クラブ行動計画推進リーダー選任のお願い、2025~2026地区副幹事選出のお願い、8月の例会出欠、8/7親睦夜例会の出欠 です。

・来週31日は、荷揚リンクスクエアでの職場例会。12時に大分市役所議会棟1階に集合です。時間、場所について、お間違えのないよう、時間厳守でお願い致します。

◆R情報（7月24日） 「ロータリーの基礎知識」

佐藤 俊治 会員

『四つのテスト』

1. 真実かどうか (「事実」嘘偽りないかどうか)
2. みんなに公平か (すべての取引先に対して公正かどうか)
3. 好意と友情を深めるか (その商取引が店の信用を高めると同時に、よりよい人間関係を築き上げ、取引先を増やすかどうか)
4. みんなのためになるかどうか (その商取引によって、すべての取引先が適正な利潤を得るかどうか)

◆会長の時間（7月24日）

会長 伊東 真知子

連日30度を超える真夏日が続いておりますが、そんな中、先日21日に熊本益城町の「グランメッセ熊本」で、「クラブ活性化ワークショップ」が開催され、佐藤ガバナー補佐を先頭に私たち執行部4名と伊藤秀海会員で出席いたしました。勿論、ラーニング副委員長の芳崎会員は、早くから準備のため会場にいらっしゃいました。

ワークショップの主旨は「クラブの未来を考えよう！」です。大分城西RCの現在と将来どうあるべきかを、皆で話し合いました。1時間という短い時間でしたが、活発に意見が出て有意義な時間でした。今年度は、先ず今までの戦略計画を練り直します。そうして次年度、次々年度と、その都度皆さんと共に考え練り直しながら、実行していくことが、私たちのクラブを持続可能なものにする最良の方法だと私は理解しています。

そこで（と申しますと、無理に話を茶の湯に持っていくて申し訳ありませんが）今日は、表千家七代目家元 如心斎の話を少しさせていただきます。

この右の図が 千利休から今日まで綿々と続く千家茶道の家元の系図です。細かく言えば、もう少しいろんな流派に分かれていますが、大きくは表千家、裏千家、武者小路千家と分かれて続いてきました。

小さくて見えにくいかもしれません、私はこの中の表千家に入門しています。利休は1522年生まれ1591年没ですから、ただいまの十五代猶有斎まで450年以上に亘って日本の文化として親しまれているわけです。

そこで、千家中興の祖と呼ばれている「七代目 如心斎」が登場するわけです。その前に、三代目家元宗旦も中興の祖と呼ばれています。宗旦は利休の政治の世界に翻弄された最期を目撃したためか、多くの大名からの茶頭(さどう)としての士官の誘いを断り続ました。そうして茶風も祖父利休の侘茶を更に徹底させたのです。

しかし子供たちはそれぞれ士官させ、三男江岑は紀州徳川家に、隠居先に連れて行った四男は加賀藩前田家に、次男は高松松平家に仕え、それぞれ表千家、裏千家、武者小路千家の始まりとなりました。このように、分家して広げていったのが三代目宗旦です。

そして、七代目如心斎。1705年生まれで1751年に没しています。26歳で家元を継いでいます。このころは



江戸時代中期で世の中も落ち着いており、町人に茶道が流行し茶道人口が増えるという時代状況で、それに合わせて如心斎は「温故知新」の心で、利休や三代目宗旦の侘茶の心を大切にしながら、新しいことを試みていったのです。

先ずは、今でも行われている「七事式」という稽古の方法を、他の流派の家元と共に編み出しました。そして 家元を頂点に各地に師範が控えるという、家元制度の整備も行い、広く表千家流茶道を伝える形を作りました。表千家では初代利休を偲ぶ利休忌(2月28日)と、この如心斎を偲ぶ天然忌(9月13日)が、毎年各地で大きな行事として行われています。

私が修業しています茶道は、このようにして今も、奥の深い利休の教えを探りながら、またその美の心に惹かれつつ、多くの人々が 学び親しんでいます。

ここで、茶道とRCとを結びつけるのは、私だけのごく個人的な考えですが、三代目宗旦や、七代目如心斎に学ぶとしたら、初代利休の侘茶の精神を軸としながら、時代と共に変化していったということでしょうか?

つまり、ロータリークラブ創立の時の理念を守りつつ、時代と共にその方法を変化させていくことが、多くの人たちの共感を呼ぶのではないかと、そう私は感じております。

最後に、現在の表千家十五代目家元 猶有斎の画像を載せさせてもらいます。

今は、茶の湯人口も少しずつ減ってきております。

着物を着る若い人は明らかに減っております。長時間の正座もなかなか皆さん

できません。洋服でもよい、腰かけてもよいという風に変わっていくのは、是としなくてはならないでしょう。そのように様式を変えながらも、利休の心を失わず、このお家元の元、どうぞ人々の心を魅了する「新しい茶の湯文化」が創造されることを願ってやみません。



◆卓話の時間（7月24日） 第1回『城西マーケット』 衛藤 祐介 会員

今日は第1回の「城西マーケット」ということで指名されました。何をやれば良いのか、手探りの状況です。とりあえず自社のPRをすれば良いのかなと思っています。

私の仕事は「建築設計」ですが、この設計デザインという仕事は個人に留まらず社会的に大きな責任が課せられます。これは建て主も同じで、自分の建物だから自分の好きなデザインで建てても他人にとやかく言われる筋合いはないと考えがちです。

しかし、建築はそこに建てた段階からその地域の環境や景観に大きなインパクトを与えてしまいます。これは公共建築に限らず、個人の住宅や建物も同じ責任を背負います。

最近別大国道沿いに「たのうらら」という道の駅がオープンしました。設計者には申し訳ないのですが、この建物を見て素晴らしいと考えるひとは少ないのではないかと思います。屋根の曲線の下品さ。柱や開口部のバランスの悪さや仕上げ素材感の貧弱さ。すべてが設計者の未

熟さを表しています。

人のことを色々言えるほどの技量は持ち合わせていませんが、あまりにも残念な建物が建ってしまいました。

本日は、設計技術の変遷を振り返ると共に、私の作品を紹介していきたいと思います。

1. 手書き図面の時代

私が大学を卒業した当時はまだ、手書き図面の時代でした。



製図台で鉛筆を使って作図します。
図面はアンモニアを使った青焼き。
電卓などはまだ普及する前で、機械式計算機や和文タイプライターです。

2. 2D CADの時代

私が独立して事務所を持ったのが31才1982年です。
このころからCADが始め、コンピュータによる作図が始まりました。
図面は鉛筆プロッターで出力です。
まだwindowsはありません。MSDOSの時代です。

3. 3D CADの時代

その後、3次元CAD。
当時はNASAの使っているUNISISのwork stationとソフトで1千万円弱かかっていました。

4. これからはBIMの時代

今や世界の潮流はBIMです。
コンピュータの中に建築の情報がすべて含有されます。

5 私の作品

これから私の過去の作品を紹介します。

パース	設計者の意図を的確に伝える簡単なツールはパースです。 今ではコンピュータで手軽に製作できます。
模型	そして最強のプレゼンツールは模型です。 3次元の模型は何よりも説得力があります。
設計コンペ	私の業務受注のメインは設計コンペでした。
街づくり	設計者としてかかわる仕事は様々ありますが、その一つが街づくりです。
公共施設	公共建物です。
民間施設	民間の施設です。
住宅	共同住宅や個人住宅もやります。

以上、私の設計の紹介をさせて頂きました。

まだまだ、設計を依頼するのは確認申請の手続きのためと考える人が多い中、街並みから形態デザイン、動線計画。色彩計画まで、プロの力を活かしたいと考えて業務依頼をしていただける施主がいましたら、是非ご依頼ください。



◆臨時理事会議事録（7月24日）

●第1号議案 2025~26年度地区副幹事選出について

地区事務所より2025-26年度の地区副幹事選出のお願いが届いており、大分城西ロータリークラブからは中山会員を選出することを決定した。